



緑ECO通信 9月

第132号 平成30年



編集・発行 資源循環局緑事務所 (045) 983-7611

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-soshiki/jimusho/midori/eco/3009eco>

子どもアドベンチャー IN 緑区役所



8月17日(金)、今年も「子どもアドベンチャー」が緑区役所庁舎で行われました。私たち資源循環局緑事務所は緑区役所庁舎前広場で“収集車乗車体験”と“3R夢(スリム)分別釣りゲーム”を出展しました。釣りゲームは釣れた「魚」の裏面に家庭から出る、ごみと資源物が描かれておりそれを正しく分別するゲームです。ほぼ間違えることなく子どもたち皆さん分別が出来ていました。日頃から分別にご理解、ご協力いただいていることがよくわかりました。子どもたちが笑顔で分別釣りゲーム・乗車体験していただけた事が印象的でうれしく思いました。ときおり強風の吹く暑い中、400人近い大勢のご参加をいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



なにが釣れるかな？

どこに入れようかな？



収集車、かっこいいね！



土壌混合法講座

IN 山下地域交流センター

7月25日(水)、山下地域交流センターにて、山下地区消費生活推進員の方々を対象に、土壌混合講座を地域の方の協力も得て資源化推進担当と合同で、開催してきました。

土壌混合法は、生ごみと土を混ぜ、生ごみを、土の微生物の力で分解し、土を栄養豊かな土に変える方法で生ごみを出さずに自宅でするリサイクル。庭がなくてもプランターのスペースがあればできます。

当日は、実際に不要な野菜くずなどの生ごみを1~2cmに小さくカットして、土と混ぜる実演を行っていただきました。ミミズが土の中に出てきたら、栄養度の高い土の証等の説明を講師から親切・丁寧に、また楽しく教えていただきました。当日、参加された山下地区消費生活推進員の皆様、お疲れ様でした。これからも、ごみの減量化にご協力をお願いします。

皆さんとても真剣です。



土をかけますよ



ふむふむ、なるほど。

環境にやさしい店頭啓発

IN アピタ長津田店



長蛇の列！

みなさんの関心の高さ！

7月31日(火)、アピタ長津田店にて、緑区役所区政推進課と共に3R夢(スリム)プランの推進と温暖化防止の「環境にやさしい店頭啓発」を行いました。今回も、ごみと資源物の分け方、出し方の分別相談の他にご自身の行っている環境行動と一致するところにシールを貼っていただくアンケートボードを実施しました。来店されていた多くの方々にご協力いただき、感謝申し上げます。また長蛇の列にもかかわらず並んでいただき、おかげさまをもちまして、アンケートボードは、シールで埋まりました。ブースに立ち寄ってくださった皆様ありがとうございました。

G30 のその先へ

ヨコハマ3R夢!

スリム



第2回各地区環境事業推進委員活動報告(鴨居地区)

7月号から隔月(奇数月)で、緑区内11地区の環境事業推進委員の皆様の様々な活動について「緑ECO通信」紙面で報告していただくこととしました。寄稿された原稿と写真を掲載します。第2回は**鴨居地区**です。

私達、鴨居地区の環境事業推進委員は10人で構成されています。

年間を通じて、いろいろな取組を実施しています。

春には、まず町内一斉清掃です。これは、農業専用地区や鶴見川沿いの土手などで散乱したごみを回収したり、草刈り等を子どもから高齢者まで、近隣の多くの方々のご協力を得て実施しています。また鴨居桜まつりでは、参加者にごみと資源の分別を呼びかける等、啓発もしています。夏は、鴨居納涼盆踊りです。約5,000人が参加する大きなイベントで、やはり大量のごみが発生します。きちんと分別してもらうために私達は奔走します。また鴨居原市民の森のソーメン流しにも参加し、ごみ分別を呼びかけます。さらに今後、餅つきフェスタ、鴨居福祉まつり、クリーンアップ作戦と様々なイベントが目白押しで、その都度、参加協力し、全員が一丸となってごみと資源の分別に取り組んでいます。



一斉清掃の様子



鴨居桜まつり



鴨居納涼盆踊り

次回は平成30年11月号**竹山地区**の予定です。

第37回ミドリンの分別リサイクルポイント

購入先に問い合わせ



横浜市では収集しない物



消火器

購入先、販売店または下記センターに相談してください。
【相談先】(株)消火器リサイクル推進センター:(土・日・祝日・年末年始を除く)
☎ 03-5829-6773(受付時間9:00~12:00・13:00~17:00)
<http://www.ferpc.jp/>



オートバイ

最寄の指定引き取り窓口、または廃棄二輪車取扱店に依頼してください。
リサイクル料金は無料です。【相談先】二輪車リサイクルコールセンター
(土・日・祝日・年末年始を除く) ☎ 050-3000-0727(受付時間9:30~17:00)



バッテリー

購入先に相談してください。購入先が分からない場合、最寄りの販売店、リサイクル協力店に相談してください。



プロパンガスボンベ・灯油・ガソリン・塗料・薬品・農薬
タイヤ・小型充電式電池・ピアノ・耐火金庫等

購入先、または販売店、メーカーなどに依頼してください。



その他、問合せ先が分からないものは販売店か資源循環局緑事務所に相談してください。(月~土・年末年始を除く) ☎ 983-7611
※「ごみと資源物の分け方・出し方」(2018年発行)P20より抜粋

ごみと資源の原単位
<ひとり一日あたりの排出量>

	30年5月	昨年同月
横浜市平均	620g	663g
うち燃やすごみ	411g	450g
緑区	596g	638g
うち燃やすごみ	406g	444g